

略歴表

2019年8月15日現在



©青木優佳氏

氏名	藻谷 浩介 (もたにこうすけ)
生年月日・出身	1964年6月18日生まれ(55歳)、山口県周南市(旧徳山市)出身
現職	(株)日本総合研究所 主席研究員(会社に席のない単年度更新年俸制社員) (株)日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問(非常勤) 特定非営利活動法人 ComPlus 地域経営支援ネットワーク 理事長(無報酬)
学歴	1983年 山口県立徳山高校 理数科卒業、東京大学 文科I類入学 → 88年法学部私法コース卒業 1994年 米国 NY 市 コロンビア大学経営大学院(ビジネススクール)卒業(経営学修士=MBA)
職歴	1988年 日本開発銀行(=現(株)日本政策投資銀行)入行(→2011年末まで正社員として在籍) 2012年 (株)日本総合研究所 主席研究員(会社に席のない単年度更新年俸制社員・現職) (株)日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問(非常勤・現職)
(うち派遣・出向)	1994年 (財)日本経済研究所調査局 研究員 → 97年出向解除 2009年 DBJツカガホール(株)ツカガホール - 兼 IE Singapore パートナー → 10年出向解除
兼職活動	2000年～ 内閣官房、内閣府・国交・農水・総務・厚生労働・財務・経産・文科省等の各種審議会委員多数 立教・法政・山梨学院・青森公立大等の非常勤講師、区立駒場小学校 2008年度 PTA 会長 現在 (公財)ラオ国際交流センター理事、公立長野大学客員教授、新見公立大学客員教授 等
特技・余技	日本地理 平成合併前 3,200 市町村全部を自費で巡歴し、地形・交通・産業・人口・郷土史等を把握 世界地理 海外 109ヶ国を自費にて巡歴(欧州は全独立国、米国は全 50 州を訪問) 自 転 車 北海道・本州・四国・九州の各東西南北端をつなぐ形で、平成合併前市町村の 46%を走破 鉄 道 国内の定期運行の鉄軌道(JR・民鉄・公営交通)の全線を完乗 ビジネス 英会話、ファイナンス・マーケティング、交渉術、プレゼンテーション(日本語・英語)、経営戦略、統計
情報発信活動	著 作 世界まちかど地政学 Next [文藝春秋 2019 年]、世界まちかど地政学 [毎日新聞出版 2018 年]、実測! ニッポンの地域力 [日本経済新聞出版社 2007 年](単著 3 万部) (書下ろし) デフレの正体 [角川 One テーマ 21 2010 年](単著 50 万部、新書大賞 2 位、ベスト経済書 3 位) 中心市街地活性化のポイント[ぎょうせい 2001 年] 海外の中心市街地活性化 [JETRO 2000 年](編著) 著 作 完本・しなやかな日本列島のつくりかた[新潮文庫 2018 年] / ビレッジプライド[ブクマン社 2018 年] / 経済成長なき幸福国家論[毎日新聞社 2017 年] / 観光立国の正体[新潮社 2016 年] (対 談) 和の国富論[新潮社 2016 年] / 日本の大問題[中央公論社 2016 年] / 高津川で見つけた未来の種 [中央公論社 2015 年] / しなやかな日本列島のつくりかた [新潮社 2014 年] / 金融緩和の罠 [集英社新書 2013 年] / 経済成長がないと僕たちは幸せになれないのでしょうか? [学芸出版社 2012 年] 一部執筆 里山資本主義 [角川 One テーマ 21 2013 年](共著 40 万部、新書大賞 1 位、ベスト経済書 9 位) 分 担 子どもが増えた [光文社新書 2019 年]、ビレッジプライド[ブクマン 2019 年]、人口減少時代の社会学 [文芸春秋 2018 年]、できることをできるかたちで[バレット 2017] / 福島が日本を超える日[かもがわ出版 2016] / もう東京はいらない[日経出版 2015] / 学校蔵の特別授業[日経 BP2015] / (続)次の本へ [苦楽堂 2015] / 消滅してしまるか! ~品格ある革新的持続へ[文藝春秋 2015] / 日本未来図 2030[日経 BP2014] / 知られざる日本の地域力[今井書店 2014] / I 社から経済を考える[合同出版 2013] / リディング格差を考える[日経出版 2008] 地方を殺すな! [洋泉社 2007] / 日本の論点 2008[文藝春秋 2007] / 実践! 地域再生の経営戦略[きんざい 2004] / 団塊世代の定年と日本経済[日本評論 2004] / クラスタ戦略[有斐閣選書 2002] / 自立する地域[ぎょうせい 2000] / IT 革命と地方の経済学[東洋経済 2000] 連 載 毎日新聞経済プレミア(電子版)に、海外見聞記「藻谷浩介の来た・見た・考えた」を週刊連載 「時代の風」(毎日新聞)、「寒風温風」(北海道新聞)、「提論」(西日本新聞)、「耕土輿論」(十勝毎日新聞)、「論点」(日本農業新聞)、「朝の文箱」(南日本新聞)を不定期連載、毎日新聞書評委員 過去に「現智の人」との対談シリーズ(新潮 45、2012~15、計 18 回) 「意外に強い地域の實力」(朝日新聞 be 土曜日青版 2008 年度、全 50 回) 「実測! ニッポン経済」(週刊エコノミスト 2005.10.3 号より 1 年間、全 50 回) 「全国まちづくり行脚」(月刊石垣 2005.6 月~2007.11 月号、全 30 回) 他に、内閣府「共同参画」、宮崎日日新聞、全国商工新聞、沖縄タイムズに有期連載 登 壇 登壇および番組出演 累計 6,000 回超(うち 2018 年 400 回弱) テーマ: 人口成熟問題、中心市街地、産業振興、市町村合併、地域金融、観光振興、地域再生など
ものを考える際の信条	① 絶対数/実例/地理歴史から帰納した仮説を、基本的条理からの演繹と照合、現実の構造を把握する ② 常識は疑い、慣用語は用いず、先入観は排し、反証のある社会通念や各種主義主張には従わない ③ 権力欲、他人や他国への優越感/劣等感、学歴/学術/技術信仰、安易な保守/革新指向を排する ④ 議論・発言の中で臆さず自説を示し、間違っていた場合には悪びれず偉ぶらずすぐ修正する

(ご参考) ピラ等に掲載される際の略歴要約の例
山口県生まれの 55 歳。平成合併前 3,200 市町村のすべて、海外 109ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興、人口成熟問題、観光振興などに関し、精力的に研究・著作・講演を行う。2012 年より現職。著書にデフレの正体、里山資本主義 (KADOKAWA)、完本・しなやかな日本列島のつくりかた、観光立国の正体(以上、新潮社) など。近著に、世界まちかど地政学 Next (文藝春秋)。